

—第6回— 越智文雄 meets

池田須美子

クラブ「絹」オーナーママ

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、エネルギー・防災・地域経済などの幅広いテーマで安心安全な未来に向けた「気づき」を発信する連載「みらいを灯す」。第6回のゲストは、沖縄の夜の社交場を51年にわたって支えてきたクラブ「絹」のオーナーママ、池田須美子さんです。



GUEST

写真/村山望

コロナ禍で失われた4年を忘れない。

全国に知られるクラブ「絹」

越智 池田代表は東京のご出身なんですよ。東京教育大学（現・筑波大学）在学中にエステサロンを開業したんですって？

池田 はい、19歳の時でした。そこのお客様に、銀座でクラブ「姫」を経営されていた作詞家の山口洋子さんがいらして…

越智 日本一の超一流の有名なクラブですよ。沖縄に来られたのは山口さんご紹介なんですか？

池田 いえ、沖縄アクターズスクールのマキノ正幸さんが、沖縄復帰記念行事で青山学院大学の同級生だった渡哲也さんと呼んだんですね。その時に初めて歌った「くちなしの花」がヒットして、沖縄でディナーショーを開くことになり、私が渡さんの前歌を務める運びになったんです。

越智 すごい、歌手もしていたの？

池田 お友達前座です。1972年、復帰の年ですね。まだまだ小さな那覇空港でタラップを降りて初めて地上に立った時、足元からゾワゾワと総毛立つような感覚を覚えました。

越智 沖縄の神様のウェルカムだったのですね（笑）。

池田 こんなに長く生きていますけど、ああいう思いをしたのは一度きりです。DNAの中の沖縄が目覚めたんでしょうか？

越智 「沖縄に骨を埋めたい」と言うので、大学を中退して両親と一緒に沖縄に移住したんです。

池田 山口洋子さんは「沖縄に住むのであれば、クラブ嬢みたいなお店をやってみたら？」とおっしゃったんですが、とても恐れ多くて。当時の

理が私の生き方のベースなんです。新型コロナウィルスの感染が広がった時に片山さつき参議院議員にお願いして「感染症対策を資材と方法から考える超党派議員連盟」の会長をやってもらったんです。コロナを早く収束させたいという議員が50人以上集まりました。私はその民間側のパートナーで、次亜塩素酸水溶液普及促進会議（JFK）の代表理事。

池田 2020年の時は休業ありきで、時短といいますが…昼間営業しなさいって。行政からのお願いで、午後3時から8時までやっていただけませんか？

越智 やったの！？

池田 やりました。3時から8時間の間で随時なんです。うちは確か4時から開けたと思います。

越智 それは一回来てみたかった…クラブ絹の屋からVIPルームでカラオケを。

池田 この外に別のお部屋があったら今も物置になっているんですけど、この4年間はずっとそこを抗原検査室にしています。

越智 言ってくれたらうちの検査ベンをただであげたのに…

池田 ええー！すごい大変でした、費用が。

越智 さっき言った「危機管理」なんです。その中の感染対策。日本

でも一番に「コロナバスターズ」という意匠登録を取って、すすきの店内やイベント会場などの除菌活動をやりました。一人感染者が来たら店を閉めなきゃならなかったから。夜中に行つて次亜塩素酸水をブワーツと噴霧して店が再開できたとか。抗原検査ペンも安く仕入れてあげて原価で提供しました。

池田 うちのスタッフは全員検査しました。お客様も一番にやります。入店前に簡易検査をして、陽性の方は残念ながらお帰りいただいて…

越智 それは徹底してましたね。陽性の方が一人紛れ込んだら、十何時間以内に会った人はみんな「濃厚接触者」として待機しなければいけなかったから。社会も経済も文化も停滞しましたね。このコロナの4年間の暗黒時代は、きちっと記録に残さないとイケません。忘れ去られるとまた同じことをやり出すから。

池田 そうですよ。

越智 沖縄は小さい島だから、また絶対パンデミックが起きる。クルーズ船が復活して観光客もこれだけ来ているんですから、また新しい菌や

らいつ何が起きるか分かりません。日本国民全員が人生の4年間をムダにした。それを次からは二度とやらせないぞと。これはぜひオキナワグラフで特集してくださいよ（笑）。

池田須美子

Sumiko Ikeda
クラブ「絹」オーナーママ
株式会社シルク 代表取締役

1950年、東京都生まれ。1969年、東京教育大学（現・筑波大学）入学。同年、都内にエステサロン開業。72年初来沖。73年、両親と共に沖縄移住。74年、クラブ絹をオープンし現在に至る。沖縄経済同友会観光委員。

みらいを灯す

HOST

越智 文雄

Fumio Ochi

エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電通でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、（一社）次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。



株式会社あかりみらい
akarimirai

お問合せはこちら
0120-760-814

あかりみらい 検索

フリーダイヤル受付（平日9時～17時30分）

【沖縄支社】沖縄県那覇市久茂地2-19-5
【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階
【東京本社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大業ビル7階